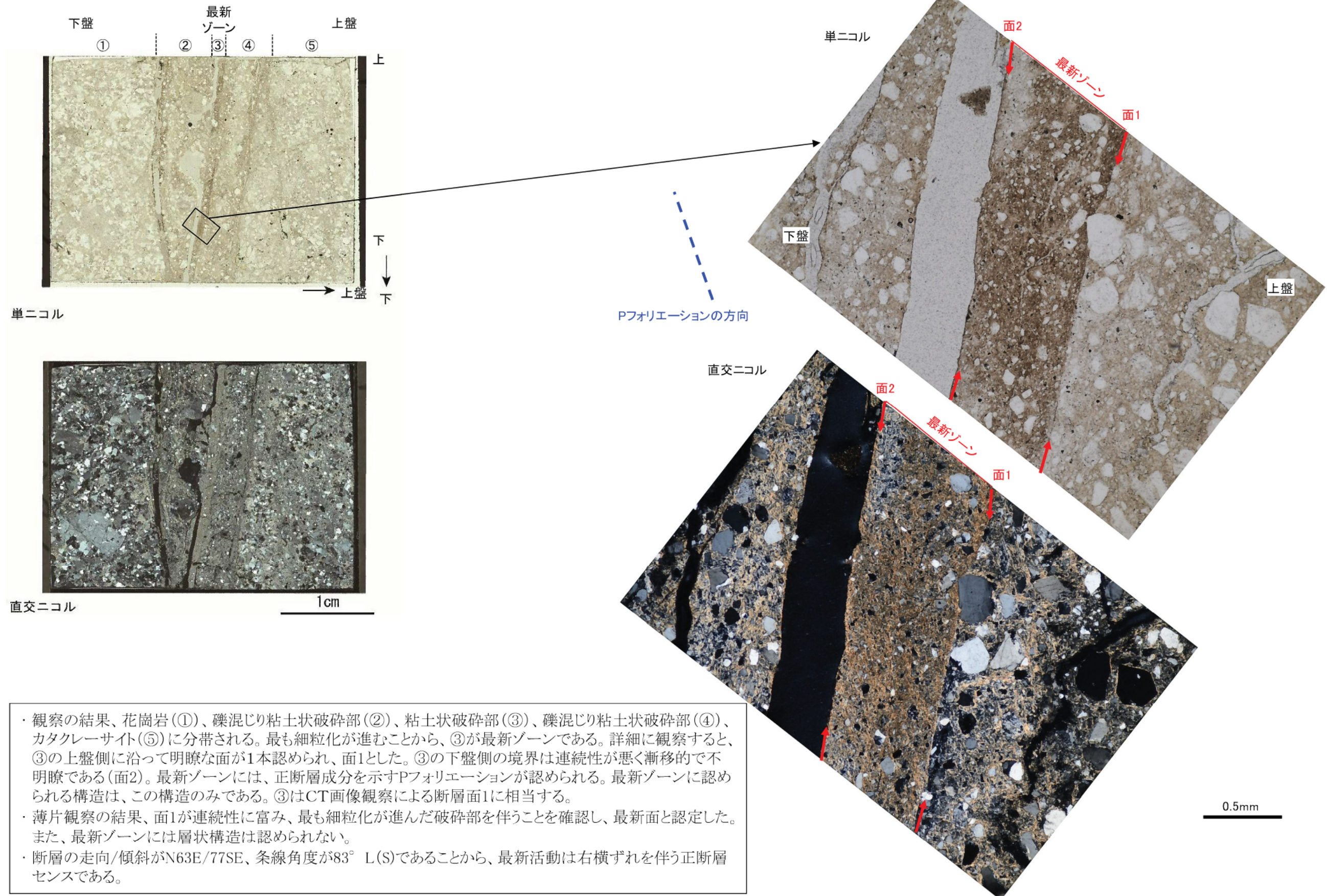


活動性評価を代表する破砕帯があるその他の破砕部 薄片観察結果(5)

—破砕部⑨ 18.80m付近 薄片観察結果—

その他の破砕部のうち 18.80m付近で認められた破砕部のCT画像観察、条線観察を実施した上で、薄片を観察し、変形構造の確認を行った。



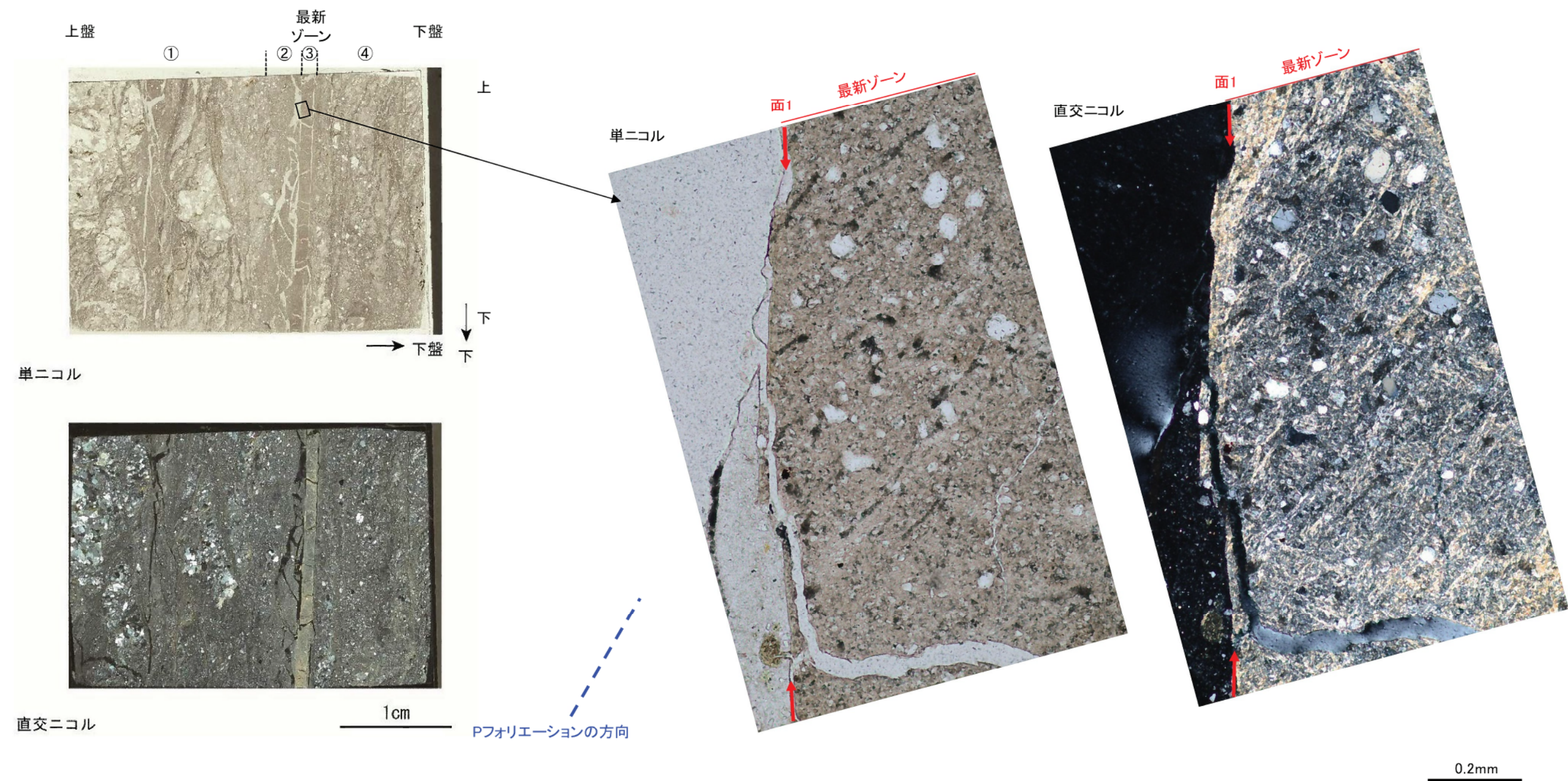
第 1.8.38 図(5) 活動性評価を代表する破砕帯があるその他の破砕部 薄片観察結果(5)

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので、公開することはできません。

活動性評価を代表する破砕帯があるその他の破砕部 薄片観察結果(6)

—破砕部⑩ 39.15m付近 薄片観察結果—

その他の破砕部のうち 39.15m付近で認められた破砕部のCT画像観察、条線観察を実施した上で、薄片を観察し、変形構造の確認を行った。



- ・ 観察の結果、カタクレーサイト(①)、礫混じり粘土状破砕部(②)、粘土状破砕部(③)、細粒カタクレーサイト(④)に分帯される。最も細粒化が進むことから、③が最新ゾーンである。詳細に観察すると、③の上盤側に沿って明瞭な面が1本認められ、面1とした。③の下盤側の境界もやや明瞭である(面2)。最新ゾーンには、正断層成分を示すPフォリエーションが認められる。最新ゾーンに認められる構造は、この構造のみである。③はCT画像観察による断層面に相当する。
- ・ 薄片観察の結果、面1が連続性に富み、最も細粒化が進んだ破砕部を伴うことを確認し、最新面と認定した。また、最新ゾーンには層状構造は認められない。
- ・ 断層の走向/傾斜がN48E/69NW、条線角度が86° L(N)であることから、最新活動は右横ずれを伴う正断層センスである。

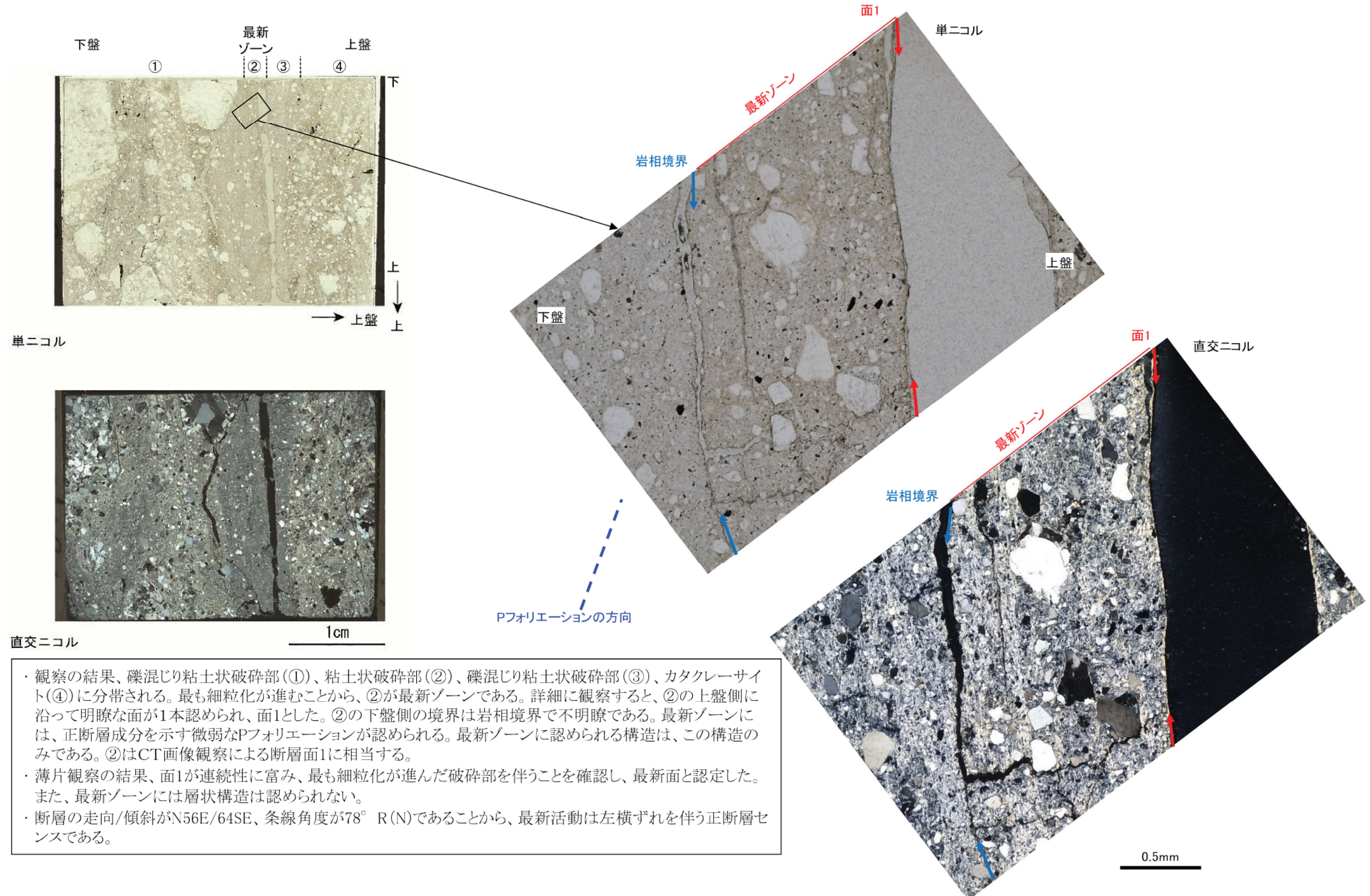
第 1.8.38 図(6) 活動性評価を代表する破砕帯があるその他の破砕部 薄片観察結果(6)

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので、公開することはできません。

活動性評価を代表する破砕帯があるその他の破砕部 薄片観察結果(7)

—破砕部⑬ 48.45m付近 薄片観察結果—

その他の破砕部のうち 48.45m付近で認められた破砕部のCT画像観察、条線観察を実施した上で、薄片を観察し、変形構造の確認を行った。



- ・観察の結果、礫混じり粘土状破砕部(①)、粘土状破砕部(②)、礫混じり粘土状破砕部(③)、カタクレーサイト(④)に分帯される。最も細粒化が進むことから、②が最新ゾーンである。詳細に観察すると、②の上盤側に沿って明瞭な面が1本認められ、面1とした。②の下盤側の境界は岩相境界で不明瞭である。最新ゾーンには、正断層成分を示す微弱なPフォリエーションが認められる。最新ゾーンに認められる構造は、この構造のみである。②はCT画像観察による断層面1に相当する。
- ・薄片観察の結果、面1が連続性に富み、最も細粒化が進んだ破砕部を伴うことを確認し、最新面と認定した。また、最新ゾーンには層状構造は認められない。
- ・断層の走向/傾斜がN56E/64SE、条線角度が78° R(N)であることから、最新活動は左横ずれを伴う正断層センスである。

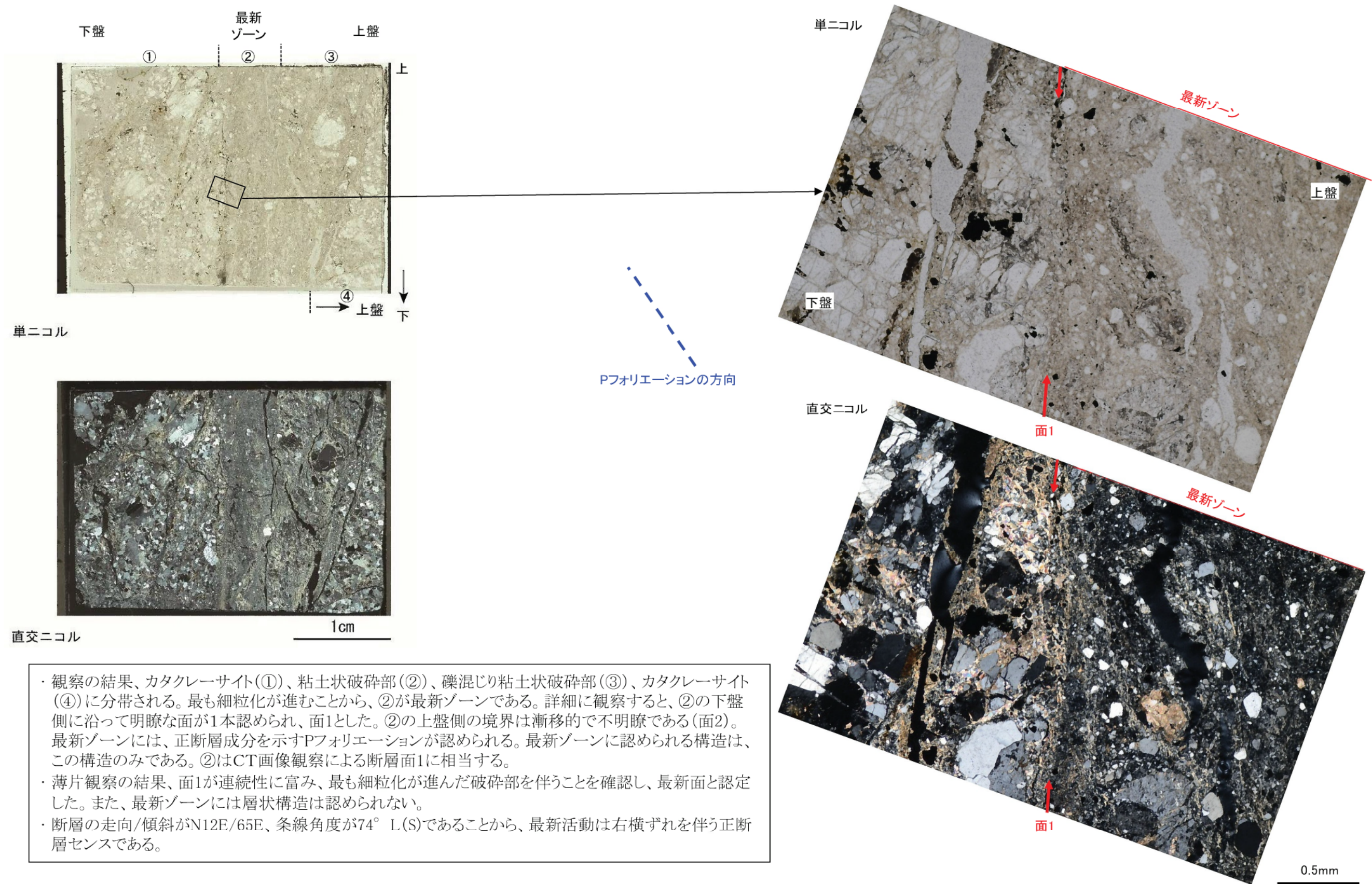
第 1.8.38 図(7) 活動性評価を代表する破砕帯があるその他の破砕部 薄片観察結果(7)

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので、公開することはできません。

活動性評価を代表する破碎帯があるその他の破碎部 薄片観察結果(8)

— 破碎部⑬ 5.20m付近 薄片観察結果—

その他の破碎部のうち 5.20m付近で認められた破碎部のCT画像観察、条線観察を実施した上で、薄片を観察し、変形構造の確認を行った。

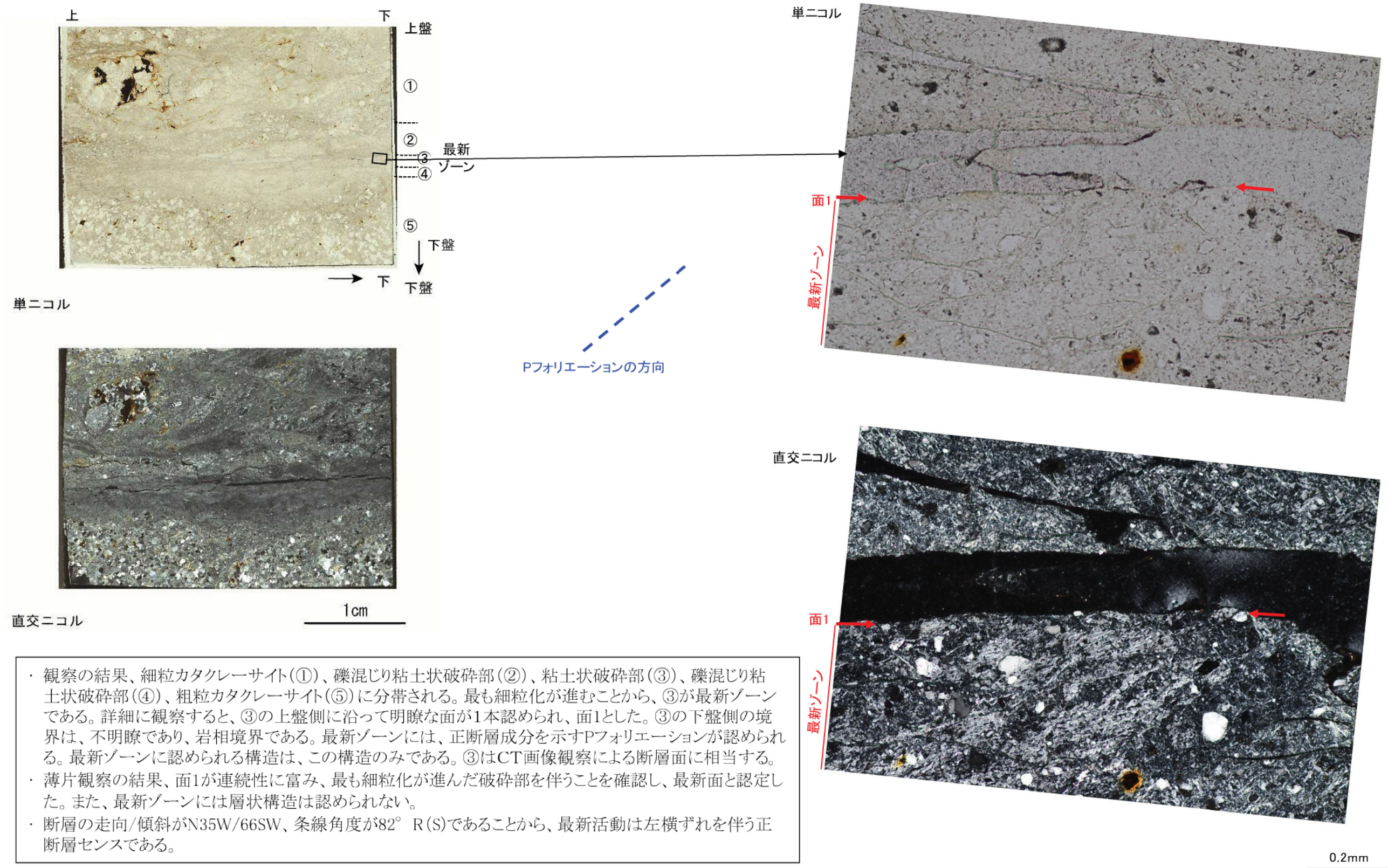


第 1.8.38 図(8) 活動性評価を代表する破碎帯があるその他の破碎部 薄片観察結果(8)

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので、公開することはできません。

破砕部⑤ 27.20m付近 薄片観察結果(1)

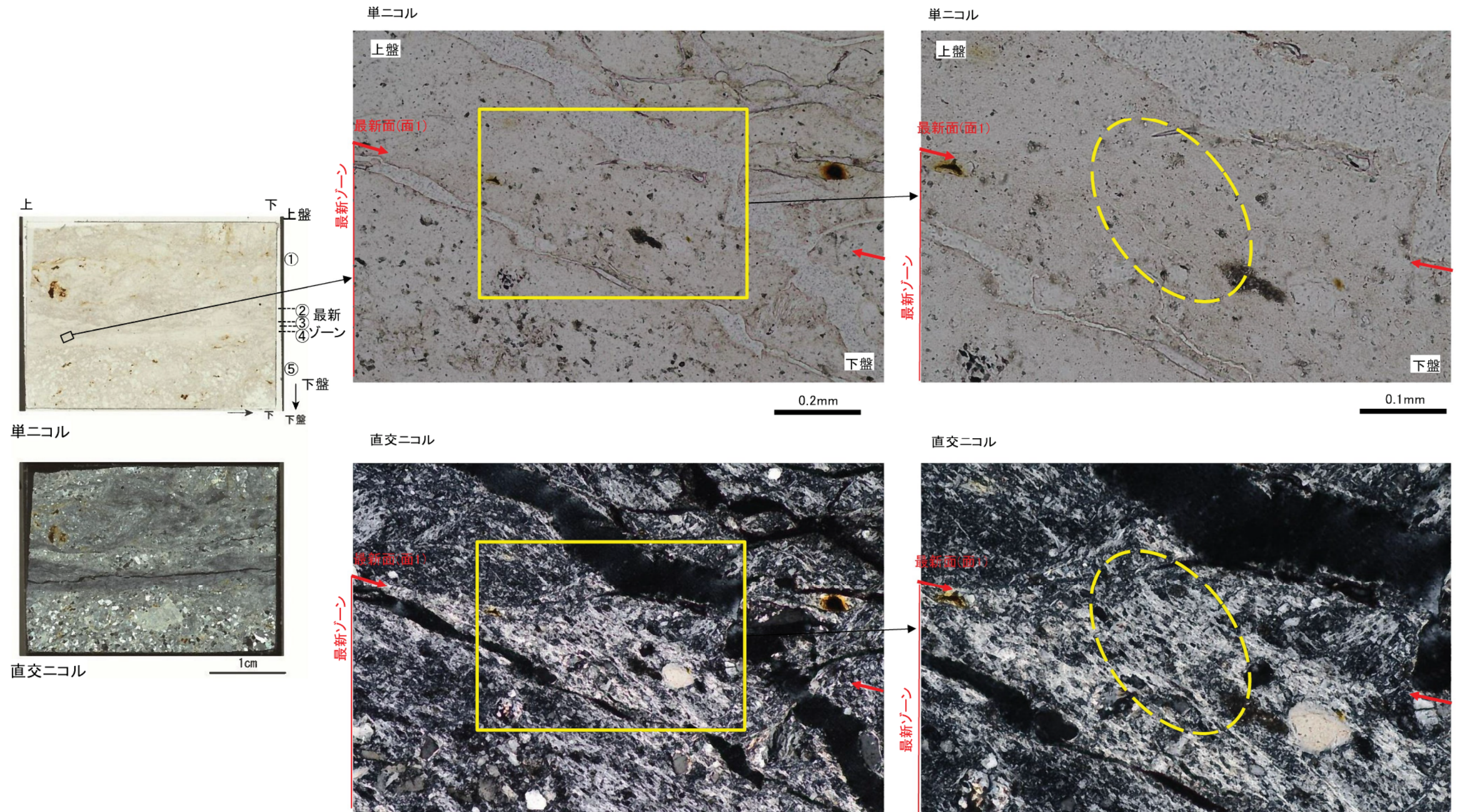
その他の破砕部のうち 27.20m付近で認められた破砕部のCT画像観察、条線観察を実施した上で、薄片を観察し、変形構造の確認を行った。



第 1.8.39 図(1) 破砕部⑤ 27.20m 付近 薄片観察結果(1)

破砕部⑤ 27.20m付近 薄片観察結果(2)

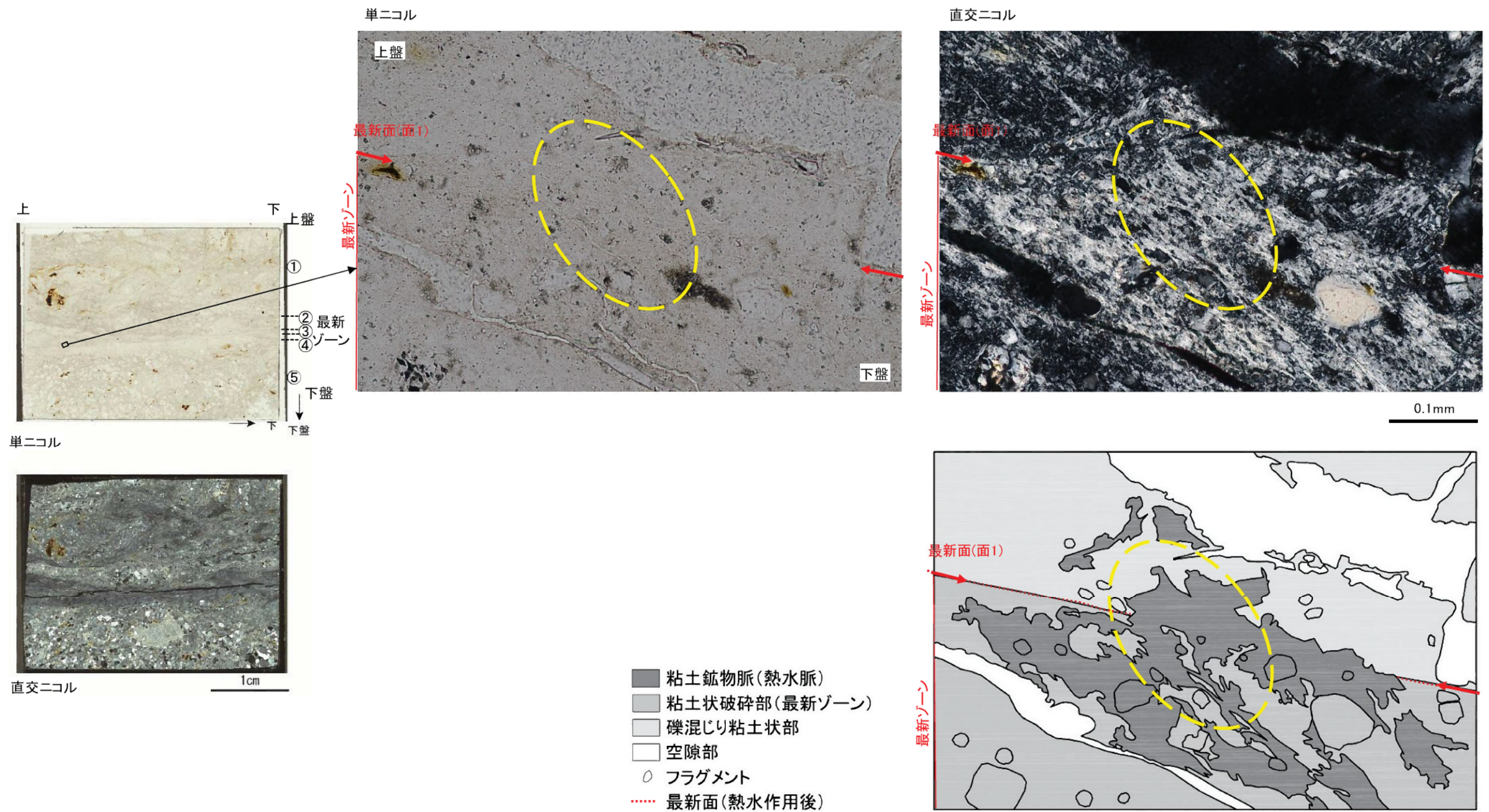
その他の破砕部のうち 27.20m付近で認められた破砕部の最新面(面1)と粘土鉱物との関係について詳細な観察を行った。



- ・ 最新面(面1)及びその周辺に粘土鉱物が網目状に発達しており、最新面(面1)が粘土鉱物で充填され不明瞭になっている。
- ・ また、この粘土鉱物には最新面(面1)を横断しているものがあり、変形していない。

破砕部⑤ 27.20m付近 薄片観察結果(3)

その他の破砕部のうち 27.20m付近で認められた破砕部の最新面(面1)と粘土鉱物との関係について詳細観察結果のスケッチを以下に示す。



- ・ 最新面(面1) 及びその周辺に粘土鉱物が網目状に発達しており、最新面(面1)が粘土鉱物で充填され不明瞭になっている。
- ・ また、この粘土鉱物には最新面(面1)を横断しているものがあり、変形していない。

破砕部⑩ 46.08m付近 薄片観察結果(1)

その他の破砕部のうち 46.08m付近で認められた破砕部のCT画像観察、条線観察を実施した上で、薄片を観察し、変形構造の確認を行った。

